

42:1 ヨブは主に答えて言った。
42:2 あなたには、すべてができること、あなたは、どんな計画も成し遂げられることを、私は知りました。
42:3 知識もなく、摂理をおおい隠した者は、だれでしょう。まことに、私は、自分で悟りえないことを告げました。自分でも知りえない不思議を。
42:4 どうか聞いてください。私が申し上げます。私はあなたにお尋ねします。私にお示してください。
42:5 私はあなたのうわさを耳で聞いていました。しかし、今、この目であなたを見ました。
42:6 それで私は自分をさげすみ、ちりと灰の中で悔い改めます。

とうとうヨブは、主の全能、人間の無知、そして高慢を心から認めることができました。「あなたを見ました」とは、理解することのできない偉大なお方を知ったということです。”私は神を知っている”という人は、その程度の神としか考えていないのですから、本当には神を知っていないのです。ですから”神の前に正しい”とか”神のみこころを知っている”などと言う場合はよくよく注意しなければなりません。

ヨブの友人たちは”知っている”というような人々でした。それでもヨブの悔い改めの様子を見て、神の全能の前にひれ伏すことができたのではないのでしょうか。

ヨブがそうであったように、主の主権を認め従うときには、不可能と思えた回復が始まるのです。自分の正しさや知識や経験を主張している限り、迷路にはまったままです。それよりも、主の主権の前にひれ伏して、回復をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

